

ファムシクロビル錠 250mg 「DSEP」 ファムシクロビル錠 500mg 「DSEP」

【この薬は？】

販売名	ファムシクロビル錠 250mg 「DSEP」 FAMCICLOVIR TABLETS 250mg 「DSEP」	ファムシクロビル錠 500mg 「DSEP」 FAMCICLOVIR TABLETS 500mg 「DSEP」
一般名	ファムシクロビル Famciclovir	
含有量 (1錠中)	250mg	500mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するとき特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、抗ヘルペスウイルス剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、単純疱疹と帯状疱疹の原因となるウイルスの増殖を抑えます。
- ・次の病気の人に処方されます。

単純疱疹

帯状疱疹

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・過去にファムシクロビル錠「DSEP」に含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。
 - ・腎臓に障害のある人
 - ・高齢の人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

腎機能に障害がある人は使用量が調節されます。

通常、成人の飲む量および回数は、次の通りです。

販売名	ファムシクロビル錠 250mg「DSEP」		ファムシクロビル錠 500mg「DSEP」
飲む目的	単純疱疹	帯状疱疹	帯状疱疹
一回量	1錠	2錠	1錠
飲む回数	1日3回	1日3回	1日3回
使用期間	5日間	7日間	7日間

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●効果が不十分な場合の対応

指示どおりに飲み続けても症状が改善しなかったり悪化したりした場合は、できるだけ早く受診してください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、使用を中止し、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・意識障害（気を失う、もうろう状態）などがあらわれることがあるので、自動車の運転などの危険を伴う機械の操作を行う場合には、十分に注意して下さい。
- ・効果が得られない場合は他の治療法に切り替えられることがあります。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は薬を飲まずに医師に相談してください。
- ・授乳中の方は授乳を避けてください。
- ・他の医師を受診する場合や薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
精神神経症状（錯乱、幻覚、意識消失、痙攣、せん妄、脳症） <small>せいしんしんけいしょうじょう（さくらん、げんかく、いしきしょうしつ、けいれん、せんもう、のうしょう）</small>	注意力が散漫になる、問いかけに間違った答えをする、行動にまとまりがない、実際には存在しないものを存在するかのようを感じる、意識の消失、顔や手足の筋肉がびくつく、一時的にボーっとする、意識の低下、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える、軽度の意識混濁、興奮状態、幻覚、妄想、考える力の低下、記憶力の低下、異常な行動、けいれん、自分の意思とは関係なく身体が動く
重篤な皮膚障害（中毒性表皮壊死融解症（TEN）、皮膚粘膜眼症候群（Stevens-Johnson症候群）、多形紅斑） <small>じゅうとくなひふしょうがい（ちゅうどくせいひょうひえしゆうかいしょう（テン）、ひふねんまくがんしょうこうぐん（スティーブンス・ジョンソンしょうこうぐん）、たけいこうはん）</small>	皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、発熱、粘膜のただれ、目の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、関節や喉の痛み
急性腎障害 <small>きゅうせいじんしょうがい</small>	尿量が減る、むくみ、体がだるい
横紋筋融解症 <small>おうもんきんゆうかいしょう</small>	手足のこわばり、手足のしびれ、脱力感、筋肉の痛み、尿が赤褐色になる
ショック、アナフィラキシー	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失、全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸（どうき）、息苦しい





同類薬（他の抗ヘルペスウイルス剤）であられる、特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。この薬でもあられる可能性があります。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあられることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
汎血球減少、無顆粒球症、血小板減少、播種性血管内凝固症候群（DIC）、血小板減少性紫斑病 <small>はんけつきゅうげんしょう、むかりゅうきゅうしょう、けっしょうばんげんしょう、はしゅせいけっかんないぎょうこしょうこうぐん（ディーアイシー）、けっしょうばんげんしょうせいしはんびょう</small>	めまい、鼻血、耳鳴り、歯ぐきの出血、息切れ、動悸、あおあざができる、出血しやすい、発熱、寒気、喉の痛み、突然の高熱、出血が止まりにくい、血尿、便に血が混じる、意識の低下、尿量が減る、皮膚が黄色くなる、白目が黄色くなる
精神神経症状（意識障害（昏睡）、妄想、てんかん発作、麻痺等） <small>せいしんしんけいしょうじょう（いしきしょうがい（こんすい）、もうそう、てんかんほっさ、まひ など）</small>	意識の低下、意識の消失、刺激に全く反応しない、根拠が無いのに、あり得ないことを考えてしまう、論理的な説得を受け入れようとしない、顔や手足の筋肉がぴくつく、一時的にボーっとする、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える、手足が動かない、上手くしゃべれない、温度や痛みを感じない、運動や感覚の機能が低下する
呼吸抑制、無呼吸 <small>こきゅうよくせい、むこきゅう</small>	呼吸回数が減る、呼吸が浅くなる、呼吸が止まる
間質性肺炎 <small>かんしつせいはいえん</small>	咳、息切れ、息苦しい、発熱
肝炎、肝機能障害、黄疸 <small>かんえん、かんきのうしょうがい、おうだん</small>	体がだるい、吐き気、嘔吐（おうと）、食欲不振、発熱、上腹部痛、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる、疲れやすい、力が入らない
急性膵炎 <small>きゅうせいすいえん</small>	吐き気、嘔吐、激しい上腹部の痛み、背中での痛み、お腹にあざができる、お腹が張る

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	顔や手足の筋肉がびくつく、けいれん、自分の意思とは関係なく身体が動く、発熱、むくみ、体がだるい、脱力感、冷汗が出る、ふらつき、出血しやすい、寒気、突然の高熱、出血が止まりにくい、刺激に全く反応しない、温度や痛みを感じない、運動や感覚の機能が低下する、体がかゆくなる、疲れやすい、力はいらない
頭部	注意力が散漫になる、問いかけに間違った答えをする、行動にまとまりがない、実際には存在しないものを存在するかのようを感じる、意識の消失、一時的にボーっとする、意識の低下、軽度の意識混濁、興奮状態、妄想、考える力の低下、記憶力の低下、異常な行動、めまい、根拠が無いのに、あり得ないことを考えてしまう、論理的な説得を受け入れようとしない、上手くしゃべれない
顔面	顔面蒼白、鼻血
眼	幻覚、目の充血やただれ、白目が黄色くなる
耳	耳鳴り
口や喉	唇や口内のただれ、喉のかゆみ、歯ぐきの出血、喉の痛み、咳、吐き気、嘔吐
胸部	動悸、息苦しい、息切れ、呼吸回数が減る、呼吸が浅くなる、呼吸が止まる
腹部	食欲不振、上腹部痛、激しい上腹部の痛み、お腹が張る
背中	背中での痛み
手・足	手足の筋肉が硬直しガクガクと震える、関節や喉の痛み、手足のこわばり、手足のしびれ、手足が冷たくなる、手足が動かない
皮膚	皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、粘膜のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、全身のかゆみ、じんま疹、あおあざができる、皮膚が黄色くなる、お腹にあざができる
筋肉	筋肉の痛み
便	便に血が混じる
尿	尿量が減る、尿が赤褐色になる、血尿、尿の色が濃くなる

【この薬の形は？】

販売名	ファムシクロビル錠 250mg 「DSEP」	ファムシクロビル錠 500mg 「DSEP」
PTP シート	 表面 裏面	 表面 裏面
形状	フィルムコーティング錠 	フィルムコーティング錠 (割線入) 
直径	9.1mm	15.6mm (長径) 7.6mm (短径)
厚さ	4.4mm	5.7mm
重さ	280mg	560mg
色	白色	
識別コード	ファムシクロビル 250 DSEP	ファムシクロビル 500 DSEP

【この薬に含まれているのは？】

販売名	ファムシクロビル錠 250mg 「DSEP」	ファムシクロビル錠 500mg 「DSEP」
有効成分	ファムシクロビル	
添加物	ヒドロキシプロピルセルロース、デンプングリコール酸ナトリウム、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、酸化チタン、マクロゴール 6000、カルナウバロウ	

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・光と湿気をさけて室温（1～30℃）で保管してください（光により変色することがあります。変色したものは飲まないで下さい）。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：第一三共エスファ株式会社

(<http://www.daiichisankyo-ep.co.jp/>)

お客様相談室

電話：0120-100-601

受付時間：9:00～17:30（土、日、祝日、当社休日を除く）